

北図書館だより

むらさきのつうしん

第9号

夏を前に不安定なお天気の日が多いですね。天気予報が変わって、予定していたことが急にキャンセルになってしまうこともあるかもしれません。そんなときは読書のチャンスですよ！

チャレンジ体験で来館してくれた中学生のみなさんと北図書館職員のオススメ本の紹介とお知らせです。

2018年6月発行



『グラスホッパー』

伊坂 幸太郎／著 （角川書店）



妻の復讐を目論む元教師「鈴木」。殺し屋「鯨」。ナイフ使いの天才「蝉」。3人の思いが交錯するとき、物語は唸りをあげて動き出す。一度読み始めると止まらない！ぜひ読んでみてください！！

『ようこそ、わが家へ』

池井戸 潤／著 （ポプラ社）



会社員倉田太一はある日、駅のホームで割り込みをした男を注意した。するとその日から、倉田家に対しての嫌がらせが始まる。池井戸潤が“身近に潜む恐怖”を描いた作品

『魔法使いハウルと火の悪魔』

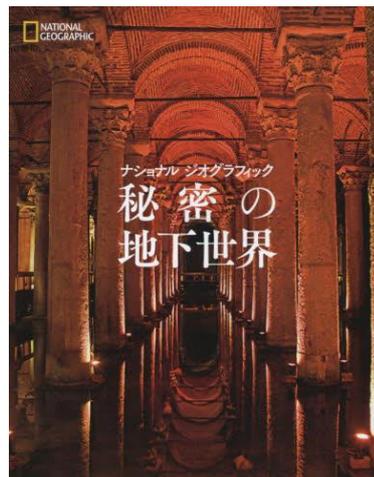
ダイアン・ウィン・ジョーンズ/作
(徳間書店)



魔法が本当に存在する国インガリー。『荒地の魔女』に呪いをかけられ、九十歳の老婆に変身させられたソフィーは、家族を驚かせたくないと家出した。ソフィーは魔法使いハウルのもとに、掃除婦として住み込むのだが…。

『秘密の地下世界』

ナショナルジオグラフィック/編著
(日経ナショナルジオグラフィック社)

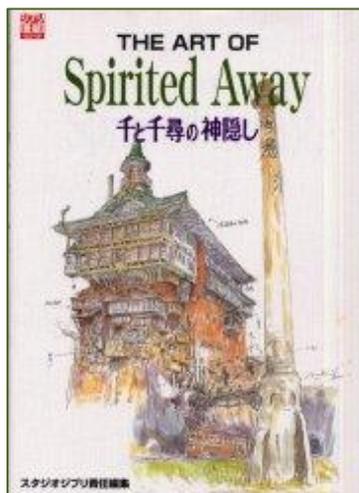


足の下にはどんな世界が広がっているでしょうか。パリの地下迷路、きらびやかな王の墓…。



『THE ART OF Spirited Away 千と千尋の神隠し』

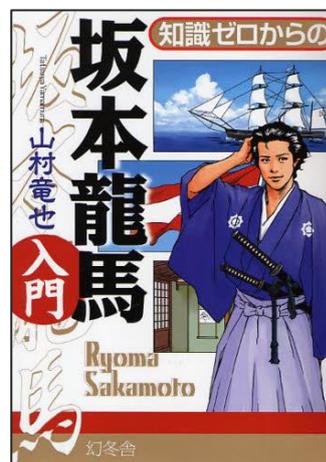
スタジオジブリ/責任編集
(徳間書店スタジオジブリ事業本部)



この本は宮崎駿氏が原作・脚本・監督したアニメーション映画「千と千尋の神隠し」のために描かれたイメージボード・美術ボード・背景・デジタルデータ・キャラクター設定を物語の流れに沿って収録したものです。

『知識ゼロからの坂本龍馬入門』

山村竜也/監修 (幻冬舎)



1835年高知県の坂本家に龍馬という子どもが生まれた。剣術の修行のため、江戸に行った龍馬は1853年に黒船を目撃。翌1854年にふたたび黒船が来航すると、龍馬は土佐藩を抜け出す。「自由人」となった龍馬は日本を変えていく…。



『獣の奏者』

上橋菜穂子／作 (講談社)



シリーズあります

獣ノ医術師の母と暮らす少女エリン。その後孤児となるが、王獣の医師となることを決心する。しかしその決心が王国の運命を左右する立場に立つことに…。『精霊の守り人』シリーズで知られる上橋菜穂子先生の新しいシリーズです。

『黄色いチューリップの数式』

√-15をイメージすると』

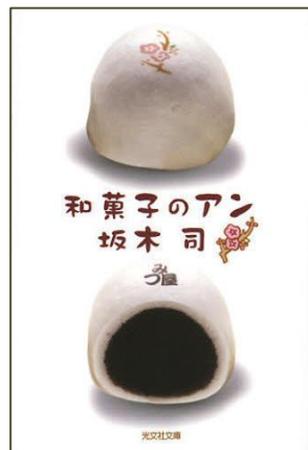
バリー・メイザー／著 (アーティストハウス)



この本では「非現実」の数、虚数について解いていきます。解く虚数は $\sqrt{-15}$ を使います。

『和菓子のアン』

坂木司／著 (光文社)



デパ地下の和菓子売り場で働き始めた梅本杏子(通称アンちゃん)は、ちょっぴり(?)太めの十八歳。オッサンみたいな美人店長やイケメン乙女的男子の立花、元ヤンの桜井などの個性的な同僚に恵まれ(?)、日々奮闘するアンちゃんのお仕事ミステリーです。続編『アンと青春』もあり!

『ちょんまげぷりん』

荒木源／著 (小学館)



江戸時代からタイムスリップしてきた侍、木島安兵衛。ひろ子・友也親子宅に居候しながら「主夫」をこなすちょんまげ侍は、パティシエとしての才能を発揮し始めて…。映画化もされた作品で、続編は友也が江戸にタイムスリップします!

北図書館からのお知らせ

～夏休みにむけて～

京都市図書館では、夏休みに利用されることの多い
課題図書や自由研究の本などを用意しています。

これらの本は例年、多く貸し出されますので、
お早めに貸出や予約をお願いいたします。



夏休みはもうすぐ！
課題は早めに
決めておいた方が
いいよ！



京都市北図書館

〒603-8214

京都市北区紫野雲林院町 44-1

TEL 075-492-8810

開館時間 平日 9:30～19:30

土日祝 9:30～17:00

休館日 毎週火曜日（祝日の場合は翌日）

HP <http://www2.kyotocitylib.jp/>



★京都市図書館で本を借りるときは図書館カードが必要です。

(持っていない方は図書館でカードを作ることができます。
住所の確認が必要なので、作るときは生徒手帳を持参してください)

